

1 開催日

2 委員長開会宣言

- 3 議事
- 日程第 1 会議録署名委員の指名について
  - 日程第 2 市教委第 37 号「高知市史跡の文化財指定について」

4 委員長閉会宣言

5 出席者

(1) 委員	1 番委員	澤 田 智 恵
	2 番委員	溝 淵 悦 子
	3 番委員	西 山 彰 一
	4 番委員	田 中 十糸子
	5 番委員	吉 川 明 男
(2) 事務局	教育次長	小笠原 哲 司
		舩 田 郁 男
	総務課長	弘 田 充 秋
	生涯学習課長	成 岡 和 俊
	スポーツ振興課長	尾 原 徳 重
	人権教育課長	吉 岡 潤
	青少年課長	成 岡 賢 一
	総務課長補佐	山 本 正 篤
	学校教育課学校教育班長	片 岡 正 樹
	学事課長補佐	国 沢 隆
	総務課総務係長	藤 原 哲
	学事課指導主事	加志崎 明 美
	総務課総務係主査	岡 宗 裕 美

1 平成 19 年 11 月 27 日（火） 16：00～16：07（たかじょう庁舎 5 階会議室）

2 議事内容

澤田委員長 ただ今から、第 1009 回高知市教育委員会 11 月定例会を開会いたします。  
初めに「会議録署名委員の指名」を行います。会議録署名委員は田中委員さん、  
お願いいたします。  
それでは、議案審査に移ります。日程第 2 市教委第 37 号「高知市史跡の文化  
財指定について」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

生涯学習課長 はい。生涯学習課の成岡でございます。  
平成 15 年の第 3 回高知市文化財保護審議会で諮問をお願いした内容ござい  
ますが、史跡である開成館について答申を受けましたので、教育委員会にご審議  
いただくもので、3 頁の内容で指定をお願いしたいと思います。  
4 頁でございますが、文化財保護審議会から答申がございまして、名称「開成  
館跡」、所在地「高知市九反田 17 番 1 号東九反田公園」1,606 m<sup>2</sup>、区分「史跡」  
の名称で答申がございました。

史跡の概要でございますが、5 頁をご覧くださいと思います。概要でござ  
います 4 番を要約をまとめながらご説明いたします。

まず、「開成館」でございますが、慶応 2 年（1866 年）、土佐藩が勤業貸殖及  
び技術教育の統括機関として九反田の地に建設したものでございます。

その後、外客接待の場として「寅賓館（イヒノカ）」と名称を改めまして、明治  
4 年 1 月に、西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允、杉孫三郎、板垣退助、福岡孝弟  
など、土佐・薩摩・長州三藩の首脳会談の地となりました。

その後、明治 7 年、征韓論に敗れた板垣退助らが「立志社」を設立し、その後、  
教育機関「立志学舎」を開成館の建物を利用して開校しました。

その後、明治 15 年、本館と開成門は移築をされましたが、開成門は高知県保  
護有形文化財に指定されております。

跡地に関しましては、水野吉太郎をはじめとする土佐政界の長老たちが創設し  
た大松倶楽部のメンバーが旧板垣邸を移築し「憲政館」と命名し、更に土佐の功  
績を後世に伝えようと「憲政之祖国」碑、「嗚呼不朽」碑を建立しております。

昭和 40 年、新たに高知市憲政記念館を新築開館し、憲政資料の収集・展示を  
行っておりましたが、平成 16 年 10 月に憲政館を取り壊しまして、跡地を「東九  
反田公園」として整備し現在に至っております。

以上のように、開成館は幕末土佐藩が困難を乗り越えて建てた金字塔ともいう  
べきものであり、その跡もまた輝かしい土佐の歴史の集積地であるといえ、自由  
民権運動の発祥地としての誇りを後世に伝えるためにも、高知市史跡に指定する  
意義は極めて大きいということで、史跡の指定の答申をいただきました。

以上でございます。

澤田委員長 それでは、この件に関して質疑等はございませんか。  
ご意見もないようですので、この件の質疑を終了し採決に移ります。  
市教委第 37 号「高知市史跡の文化財指定について」を原案のとおり決するこ  
とにご異議ございませんか。

委員一同 意義なし。

澤田委員長 意義なしと認めます。よって市教委第 37 号は原案のとおり決しました。  
以上で本日の議事日程は全て終了いたしました。これで教育委員会を閉会いたします。